

ろうきんの理念と基本姿勢

ろうきんの理念

ろうきんは、働く人の夢と共感を創造する
協同組織の福祉金融機関です。

ろうきんは、会員が行う経済・福祉・環境および
文化にかかわる活動を促進し、人々が喜びをもって共生できる
社会の実現に寄与することを目的とします。

ろうきんは、働く人の団体、広く市民の参加による団体を会員とし、
そのネットワークによって成り立っています。

会員は、平等の立場でろうきんの運営に参画し、
運動と事業の発展に努めます。

ろうきんは、誠実・公正および公開を旨とし、
健全経営に徹して会員の信頼に応えます。

● ろうきんの基本姿勢

目的

ろうきんは、働く仲間がつくった福祉金融機関です

ろうきんは、労働組合や生活協同組合などの働く仲間が、お互いを助け合うために資金を出し合っ
てつくった協同組織の金融機関です。
ろうきんは働く人たちの暮らしを支え、快適で過ごしやすい社会づくりに寄与することを目的と
しています。

運営

ろうきんは、非営利・公平・民主的な運営の金融機関です

ろうきんは、労働金庫法に基づいて、営利を目的とせず、公平・民主的に運営されています。
ろうきん独自の運営に共感する人たちの輪が、働く人の団体・市民の参加を得て、全国で1,000万人の人
たちに広がっています。

事業

ろうきんは、生活者本位の金融機関です

ろうきんの業務内容は、預金・融資・各種サービスなど、一般の金融機関とほとんど変わりません。しか
し、ろうきんでは資金の運用が、生活者本位に行われているのが特長です。
働く人たちからお預かりした資金は、住宅・マイカー・教育資金など、働く人たちの生活を守り、より豊か
にするために役立てられています。

■〈ろうきん〉の目的や事業の原則は法律で定められています。

労働金庫法は、労働金庫及び労働金庫連合会の設立、組織・事業等に関する根拠法です。労働金庫法には、目的や
事業の原則をはじめ、金庫運営全般に関する規定がおかれています。

労働金庫法(抜粋)

(目的)第1条 この法律は、労働組合、消費生活協同組合その他労働者の団体が協同して組織する労働金庫の制度を確
立して、これらの団体の行う福利共済活動のために金融の円滑を図り、もってその健全な発達を促進す
るとともに労働者の経済的地位の向上に資することを目的とする。

(原則)第5条 金庫は、営利を目的としてその事業を行ってはならない。

2 金庫は、その行う事業によってその会員に直接の奉仕をすることを目的とし、特定の会員の利益のみを
目的としてその事業を行ってはならない。

3 金庫は、その事業の運営については、政治的に中立でなければならない。

● 中央ろうきんと全国ろうきんの状況

ろうきんは、働く人とその家族の方たちの暮らしを第一に考える金融機関として、全国で1,000万人の人たちのご支持をいただいています。

中央ろうきん・全国ろうきんの概要

(2011年3月末)

項目	中央ろうきん	全国ろうきん(13金庫)
預金残高	4兆9,944億円	17兆 232億円
貸出金残高	3兆6,404億円	11兆3,725億円
出資金	293億円	946億円
団体会員数	14,159会員	57,886会員
間接構成員数	3,277,514人	9,997,747人
常勤役職員数	2,566人	11,303人
店舗数	153店舗*	653店舗

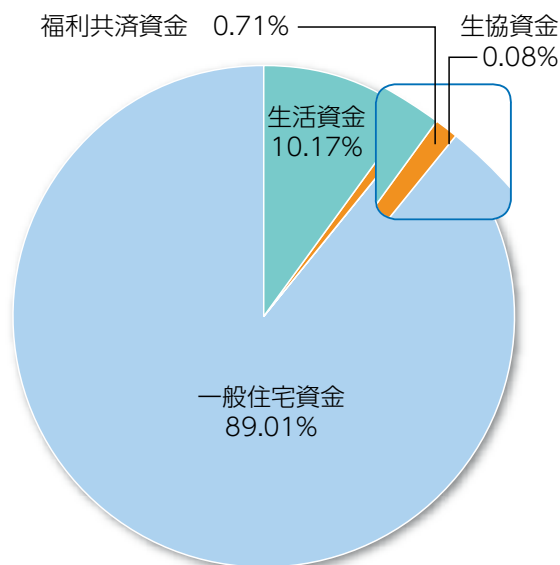
*中央ろうきんの店舗数には、バーチャル店舗(インターネット中央支店・中央ふれあい第一支店)を含みます。

● 融資にみるろうきんの特長

〈中央ろうきん〉の融資は、約99%が個人の方への融資です。

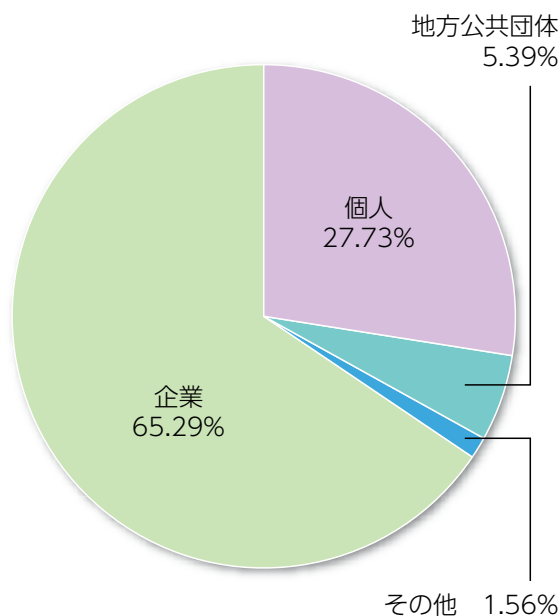
中央ろうきんの融資使途別割合

(2011年3月末現在)

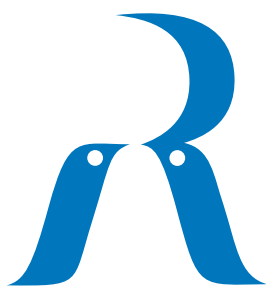


銀行融資の融資先別割合

(2011年3月末/日銀ホームページ資料より算出)



ろうきんのシンボルマーク



シンボルマークは、欧文の〈ROKIN〉の頭文字のRをデザインしたもので、同時に鳥の親子を表しています。鳥の親子は、愛とやさしさ、親から子へと引き継がれる労金運動を意味し、ろうきんの親近性を強調するとともに、はばたく鳥は、より発展するろうきんの飛翔を表現しています。また、欧文の頭文字をデザインすることにより、ろうきんの近代性を強調しています。

シンボルマークのカラーはブルーです。ブルーは、心理上「知性」「未来」「希望」を連想させるカラーで、ろうきんが目指す近代的なイメージを表現しています。シンボルマークにはろうきんの理念が表現されており、ビジュアル・アイデンティティーの基本として、すべての視覚媒体に使用されています。